

100人のNEWS

No. 175

教育再生 地方議員百人と 市民の会

理事長
大阪市議員 辻 淳子
【発行・編集責任者】
事務局長 増木重夫
大阪府吹田市古江台
2-10-13
TEL 090-3710-4815
FAX 06-6835-0974
<http://www.100n.ne.jp/~h100prs/>

「教育再生地方議員百人と市民の会」 平成二十一年度総会 中山成彬前大臣御講演

日時 平成二十一年十一月二十九日(日)

会場 大阪上六たかつガーデン

基調 中山成彬元国土交通・文部科学大臣

講演 私はなぜ日教組と戦ったのか

中山成彬元大臣が下野され三ヶ月が立ちつつあります。今回はフリーになられた立場から「私はなぜ日教組と戦ったのか」と題し、今だから話せる文部行政を、また一部では地方議員の方々と「かくあるべき、日本の将来と子供たちの教育」と題して鼎談を御願いたしました。そして会場からは「自民党結党精神を忘れず、保守本流で直せ！ いままでメソメソやってんだ！」という意見が続出。元大臣に激励を通り越して叱咤。以下、その要約です。



一部「私はなぜ日教組と戦ったのか」

中山成彬元大臣：昨今の政治情勢を鑑みると左翼の0年間本当に粘り強くしぶとく活動してきた結果の、無血革命と言えるところではないかと思う。今日の情勢は戦後の日教組教育の結果である。

昭和22年日教組設立当初、彼らは暴力革命を標榜しており、教師は労働者であり、教え子を革命戦士として育てると表明していたのだが、流石に後々、暴力を伴わない形の平和的な戦術に変えてきた。彼らの活動は、少しずつ芽が出る度に潰しておかなければならなかったものを、巧妙な手口で我々は油断してしまっただのかもしれない。その事が今の事態を招いている、これは反省すべき点である。

先の衆院選、負けたとは思っていたが、あれほど負けるとは・・・候補者が会合一つで多くて500人へ伝える間に、マスコミは一度で何千万にも、政権交代、政権交代」とお題目のように伝えた。その結果、ちよっと負けすぎたためか自民党自体が未だやや茫然自失状態と言っているかもしれない。民主党でなければ政党内閣にあらざる、民主党議員でなければ・・・のような風潮まである状態。鳩山首相の政治献金疑惑など、完全に脱税行為なのに、支持率が高いのは不思議なのですが、産経くらいしか書いていない。しかし、この事がこの先も問題にならないのなら、日本の法秩序は無茶苦茶になってしまう。

また、東アジア共同体構想などと鳩山首相は言っているが、DTPとは全く同列には言えない別物であるのに、政治音痴、外交音痴としか言いようが無い。子供達や孫たちに日本をキチンと残し、伝えていきたいと思うのですが、子供手当にしても、パチンコ代に消えるのでは一部で言われたり、片や払えるのに払わない給食費未納問題など・・・日本が急速に精神的にも貧しくなっている気がする。

民主党政権のしていることを教育に限ってだけ見ても、例えば、道徳の副読本に心のノートというのがある、日教組は道徳教育を拒否しているのも、もともと教科書自体が無く、副読本としてのノートは、ごく普通の「人として守るべきこと」が書いてあるのです。3年前、私が文科相のときに復活した全国学力テストも、一斉ではなく4割抽出という形にしようとしている。漸くこの地域の学力が低いのか、高いと

ろはどのようにしているのか等が判ってきたところなのに、である。

教員免許更新制も10年ごとに先生方が技術を学び直す良い機会であるし、子供達の前に立たせてはいけない先生に外れていただく目安にもなるのに、これも廃止の方向を打ち出している。教育改革を後退させようとしているかと思えない。

また、あの仕分け作業の中でも、来年の参院選のために日教組の意向を汲んで、先生方の給与の国庫負担を減らさなかった。もっとも、私自身は先生方の給与を下げる必要はないが、その代わりにちゃんと教えていただきたい、ダメ教師は去れ、と思っ

仕分けについては、他にもスパコンの予算削減などがあるが、これはおかし。日本にとついても必要なのは科学技術や人材育成なのに、子供手当や高速無料化といった目先のものの確保のために削ろうとする。前の政権が新しい経済成長の芽にしようとしたものが目の敵のように削られていた気がする。

さて、今秋、外国人参政権等に、反対する請願書署名を集める集会があった。13項目の請願書全部で10万通近く、集まった人は5000人(警察発表)というものとなった。この署名活動はネットの呼びかけだけで(マスコミは一切報道せず)これだけの数が集まった。それだけ民主党の政策に不安を覚えている人達がいるという事だと思っ。この外国人参政権や地方主権、分権ではなくいつの間にか主権になっっている、恐いのは対馬や与那国島の問題である。いま現在、対馬の土地を韓国の人が買ひあさっている。釜山では対馬が韓国領だと決議していたり、・・・今後与那国島に中国系の人達が多く移り住んだり(中国は国策として海外移住をさせている)・・・となった場合、地方参政権だからと見くびっていて、その地方議会において対馬は韓国入、与那国島は中国入、と決議されたら、大変なことになる。

請願書の13項目の中には、外国人移民1000万人計画への反対というものもある。これも既にある留学生600万人計画(大半が中国人留学生)と共に、中国からなら大したことのない人数だが、日本からみると、実に人口の10分の1にあたる訳で、日本の中に無法地帯が出来る恐れすらある。単に「労働力不足だから移民受け入れを」は安易で危険な考えである。これからの日本はどうなっていくのか、鳩山政権は良くないのではないかと、小沢氏の党内恐怖政治・強権政治(小沢氏はイギリス式を指していると言っているが、谷垣氏がヒトラーユーゲントのようだと評した方が当たっている)言っれば、中国の社会主義独裁政治が始まりつつある現状である。

また、CO2、25%削減など企業に大きな負担を

自然さえ残ればいいというのではなく、日本人がこの国でこれからも豊かに生きていくためには、外交・防衛・経済・教育、全てがいきなり、大変なところに来ているんだということを申し上げて、結びたい。

二部「かみゆき 日本の将来と子供たちの教育」

北川信司(前豊中市議)：教育鼎談ということで、それぞれの先生方に自己紹介もかねて、地方と国の連携など将来に対する希望、

要望などを、年長者からということに・・・

広重市郎(宇部市議)：年長からということに。前期高齢者、65歳になりました。自己紹介では「イチローの活躍見つつ今日もまだ一人つぶやく俺もいちろー」ついでに「をすつ」と言ってきたのですが、私の言うイチローは野球界のイチローで世の中にはとんでもないイチローもいる。政界が大変な状態になっているいま、一体どうすればいいんだろうかというのが正直なところだ。

和田有一朗(兵庫県議)：神戸の垂水から出ています。一貫して教育問題をやってますが、やはりくっついてきています。日の丸と元号の問題をいまだにやってるんですが県当局、今まではとりあえず答弁をしてくれました。最近「国も変わりましたから・・・」といふなされてごまかされる。例えば、行政の書類が西暦だけ使用してたり。小学校の入学式・卒業式に日の丸はあるが、君が代を歌えない・歌わない。など。国と地方の連携についても国の状況が状況だけにお寒いなあ・・・と思っます。

北川：では、中山先生・・・

中山成彬元大臣：国旗国歌については、国歌については学習指導要領を「歌えるように指導する」と改訂しました。この「歌えるように」と入れるのが大変だった。指導するはずなんです、どうなりますか。何とか頑張っついでいかなと。

和田：すみません、もう一点だけ。橋とか公共の建物の礎石の定礎すら国土交通省の例示がそつだからと西暦になってきています。もし、西暦になっているのに気がついたら抗議してほしい。一般の方からの指摘があれば行政も考えてくれるので。あと、神戸市では運動会で国旗国歌がない。県は規定がないので指導できないと。「スモポリタン思想」というか国家意識希薄な子供たちが育っつてくるのかと思っ

広重：教育の問題というのは票に結びつかない。だから教育問題を議員がする場合は自分なりに覚悟を決めてやらなさいといけない。また、議員だけでは駄目なケースも多い。例えば、歴史教科書、昔の教科書、平成7年8年頃に「従軍慰安婦」という言葉

※ 総会「議事」に關しましては、議事録をHPにアップしております。ご参照ください。

がボンと出てきた。これを国会議員の中山先生、安倍先生などが取り上げ、皆が問題にしてくれたことで、あの当時に比べれば、今の教科書はまだましになっている。宇部市には、一般の方が頑張ってくれた男女共同参画条例があります。

北川：男女共同参画条例、平成11年に男女共同参画基本法ができましたが、後日談として殆どの先生方が中身を知らないうちに決まっちゃった。中山：男も女も一緒にやって社会を作っていくという主旨自体は問題なしなのに、推進していた連中には裏にジェンダーフリー思想を隠した条例を地方で作っていく戦略があったのだからと思う。あと、年号は自治労が決めているのと一緒で、日教組の強いところと運動している。

和田：実はもう一つ非常に危惧していることがある。幼保一元化です。いま男女共同と少子対策と幼保一元化がいついっしょくたになってしまっている。行き着く先は「両立支援」という言葉です。働きながらの子育てを支援することが少子対策になり、目指すべき男女共同社会に繋がる。それぞれメニューとしては別なのに幼保一元化へもっていかうとしてます。私は、本当にお子さん産みたくて育てたいと一生懸命にされている方は専門の主婦だと思っ。それを、保育所を作れ以上に幼保一元化という施策を進めると、結果的に専業主婦を根絶やしにすることになるのでは危惧しています。専業主婦に対する予算の付いた少子対策はない。けれども、私は、専業主婦の方が子供を産んできっちり育てるといふその価値観を認める・大事にするということを失ったら保守はつぶれるのではないかと危惧しています。

広重：子育ての第一責任者は誰か？新しい教育基本法の10条にもあるようにそれは親です。子供手当はその否定ではないかと。親の責任というものが消えてしまふ。社会が子供を育てる。まさしく社会主義国家になってしまふのではという気がしている。中山：子供手当のために扶養控除をなくすとこれは、これは専業主婦を否定しているわけです。夫婦別姓で家庭を壊しバラバラにする。民主党の人たちは子供の社会化といいますが、子供は社会の宝だから、早く家庭から子供をとりあげて社会化してしまおうとする社会主義思想が子供手当の中にある。

北川：自治労、日教組が勢いついてくる中で保守の議員達はどうしたらいいかについて国政との連携なども含めていかかでしょう？
和田：兵庫の自民の国会議員は衆議院2名参議員2名です。国政では野党だが県議会では与党なのに話の冒頭に「野党になりまして」と言っている。私からすると、県議の方まで自信喪失して全く先が見えていない、と言っしかない。
中山：自民党本部も呆然自失、まるで終戦後のように、保守陣営の立て直しをどうするのか。結論を急ぐようですが、民主党の中に亀裂をいかに入れてい

くか。日教組・自治労といった官公労の組合と民間の組合とは別れるべき。考え方の違うところが一緒にいることがおかしいのですが、いかに亀裂を入れたらいいか、早くしないと日本がなくなってしまう。焦りの気持がある。

広重：保守の中にも外国人地方参政権を推進している方がいる。昭和21年に昭和天皇が何と歌われたか、「ふりつもるみ雪にたへて色かへぬ松ぞををしきひともかくあれ」と。その松が今、松くい虫にやられてる。また、もう一つ、小学校での英語必修化に反対してほしいということ。言語体系が全く違うのですからまず国語をしっかり教えてからその後英語。「国家の品格」を書かれた藤原正彦さんが「一に国語、二に国語、三四がなくて五に算数」と仰ってます。

北川：それでは、ここで空気を換えるというか、皆さんからの質問やご意見を。江上嘉隆：今の政治家に国家観が感じられない。日教組は50年くらい前から危惧されていたのだから、いつでも潰せたのではないかと。外国人参政権も夫婦別姓も国の解体が目的のだから、阻止するためにクーデターを起こすくらい情熱はないのか。

中山：徐々に日教組が強くなっていく中で「日本の前途と歴史教育を考える議員の会」を立ち上げて従軍慰安婦や強制連行といった教科書問題を取り上げたのだが、朝日を中心としたマスコミに責められ、なかなか上手いかなかった。日本の教育をおかしくしているのは日教組だと思いつけて、国交相の時に漸くマスコミも私の発言を肯定的ではあれ、取り上げてくれたのだが、結果的に国交相をやめる事になった。あの時間内からも「中山がおかしい」という声があったこと。民主党政権が誕生し、日教組教育がますます強まろうとしている。日本全体が社会主義的な全体国家になろうとしている。この危機感を一体誰と共有すればいいのか。何とかして多くの国民の皆様がこの危機の念をわかってもらいたい。そうしないとこの国は急速に衰えていくことになる。残念ながら今回の選挙で日本を憂える方たちは殆どが落選してしまふ。憂国の議員を何とか救護したいと思っっている。

北川：平沼さんの新党構想という話もあつたりしますが、仮に平沼さんから誘いがきたらどうされますか？
中山：参議院に自民の比例代表で出るのか。平沼新党の一員となるのか。お答えできればいいのですが今はまだ中ぶらりんの状態。北川：お気持ちだけはわかりました。
葛目浩一：今のお話でほつとしたのですが先ほど自民茫然自失と聞いたときは愕然とした。私は自民の敗因は保守政党としての理想を失ったことにあると思っます。志を失った自民が捨て去った保守思想は厳然としてある。せひ、自民の本来の党是に立ち帰っていただきたい。また、自民が全勝した地域、福井・高知へ「島根も」の声（出向いて、住民と党との関係を洗いなおしていただきたい）。

中山：自民党に民主党とどこが違うのかははっきりさせなきゃと伝えている。反省の上で、やり直して、立党の精神に立ち返るだ。日本人の中の保守本流の生き方に誰が気づいて立ち上がるのか？と思っているところ。

辻理事長：谷垣総裁も「皆さんと一緒に保守を立ち上げたい」と仰っていた。草の根保守だ。自民しつかりしろという声も多く聞けるが、私は野党も、しつかりと文句が言えるので悪くないと思っす。
宮川康：由々しき問題が起こっているので報告します。愛媛の今治市と上島町が日本会議中心の支援を受けて扶桑社の教科書を採用しようとしているのですが、それに対して広島の韓国領事が内政干渉をしてくれている。国家の独立・自尊のために、内政干渉許しがたいという運動を起そうとしている。

池田博義：天皇陛下ご即位20年に3000人もの人たちが集まったことからもわかるように、日本の中には保守の思いというのは70%潜在していると思っす。ただ、本当の保守を信奉する指導者が現れていない。せひ、中山先生には「俺の旗の下に集まれ」と声を上げてほしい。
梶谷萬里子：中山先生が文科相であられたとき、竹島問題で「子供たちが日本の国の領土はどこからどこまでであるかというのを知るのには非常に重要なことである」と仰ってくださった。それを受けて、竹島が教科書に載るようになったのだと思っす。島根県では竹島が一番ちゃんと載っている教科書を、扶桑社ではありませんでしたが、採択した。その後、去年指導要領に竹島が載り、島根の小中学校で竹島教育をしております。また、竹島学習の副教材として島根県がDVDを作っています。せひとも、島根を参考にしてください。

中山：随分と遠いところ、島根や四国の方から皆さん来てくださっている。ありがとうございます。
北川：残念ながら時間になりまして。最後に一言。
広重：外国人参政権反対の請願書、を宜しくお願ひしたい。また、世田谷区の総合学習には小1に素晴らしい詩や漢字を教えているところもあることをお伝えしておきたい。

和田：副読本には変なものもあります。勝手気ままという言い方は言い方が悪いですが、左翼の先人を載せたりしたものもあります。また、自民党の負けた議員は保守性を出さなかったからだと思っつけない。もつと冷静に敗因を分析しないと駄目だと思っす。
中山：長時間ありがとうございました。貴重なご意見をたくさんいただきました。日本が日本でなくならないよう、東へ西へこの会が広がっていくことを期待しております。日本人の中に日本を駄目にしてしまおうという邪悪な心を持っている人がいることをしつかり踏まえたいので、日本を立て直していかなければと思っしております。

百人の会、「郭」で狂った!

大阪の文化財視察 平成21年12月26日
大阪府西成区飛田新地

12月26日、第60回理事会終了後、平成21年の忘年会を・・・いや、「大正く昭和の文化に触れよう!」と大阪の文化財の視察を・・・どろろが主かわかりませんが、辻淳子理事長の地元、大阪府西成区、飛田新地の「鯛よし百番」で行いました。大正7年から昭和33年の廃止に至るまで、40年間にわたり繁栄し続けた大阪市内で最も新しい飛田遊郭。昭和初期には200軒を越える妓楼が軒を連ね、大いに賑わいを見せました。昭和32年の「売春防止法」の施行により廃止に追い込まれ、料亭街に転じていきました。その中でも当時の面影をそのまま遺す「飛田百番」。大正11年、昭和3年の間に建てられたと考えられており、遊郭独特の数寄屋造りであり、現在は、新鮮な素材を使った会席料理を手軽な価格で提供する飲食店で、平成11年には「文化庁登録有形文化財」に登録されました。内部は応接室になる陽明門、階段や壁面など、かなり豪華絢爛、当時の賑わいを感じさせる派手な造りになっています。

今回ここで視察を兼ね、忘年会を行いました。この一角には文化的価値があるものがいくつもあつた。それらを修理したいが予算が」と理事長は嘆いています。怪しげな通りを3030歩き、玄関の中を横目で見ながら。この日はあいにくの全館満室で他の室を見ることはできませんでしたが、皆様も、一度はいかれたいかがでしょうか。それはそつと、本当に約一名狂っていたな! 誰とは申しませんが、本人は身覚えがテス。

